

経済的自由への道は

# 世界のお金の授業 が教えてくれる

## The Financial Literacy

— 人生の選択肢が広がるパーソナルファイナンスの教科書

にし むら たか お

西村隆男

Takao Nishimura





---

はじめに

## お金についてあまり学ぶことなく、大人になってしまったあなたへ

「いま90万円をもらうのと、1年後に100万円をもらうのなら、どっちがいい?」と言われたら、あなたはどちらを選びますか?

自分の生涯賃金をたずねられたら、「だいたい〇〇円くらい」とパッと答えられますか?

「超低金利の円預金と金利の高い外貨預金のどちらが得だと思えますか?」という問いに、自信をもって回答できますか?

この本は、これから先の長い人生に必要な「お金」のマネジメントについて、自分の頭で考えられるようにするための本です。

生きていくには「お金」が必要です。あなたもきっと一生懸命働いて「お金」を稼ぎ出しているでしょう。だからこそ、無駄なく効率よく使いたいし、少しずつでも貯めたいし、できれば増やしていきたいと考えるのは当然です。

しかし、それが意外と難しいことなのです。金融サービスを提供する企業は、社会にあまたあります。銀行、保険会社、証券会社、クレジット会社、消費者金融、インターネット上の企業も多数存在します。しかもそれぞれの企業が何千にもおよぶ金融商品を販売しているので、どの企業のどの商品を選択したらよいか迷ってしまいます。もちろんビジネスですから、利益

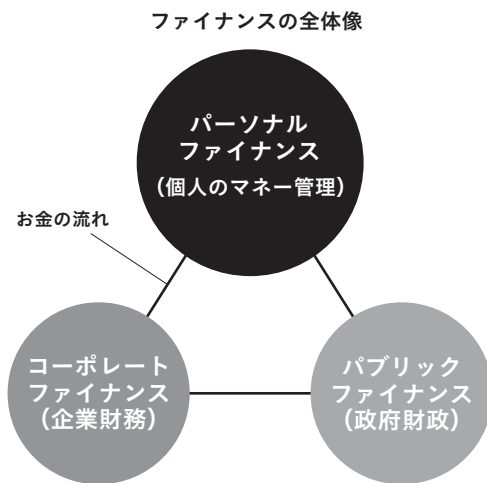
追求のために利益に結びつきやすい商品をすすめられることもあります。そのため、契約した消費者が単純な思い違いをしていたり、予想以上に大きな損失を出してしまったりするケースも少なくありません。

金融サービスについて正しく理解することは、いまや社会人にとって必須のスキルです。金融サービスの仕組みや金融商品の特徴をつかみ、自身の目標に向かってマネーマネジメントをすることを**パーソナルファイナンス**と呼びます。パーソナルファイナンスは、欧米では高校や大学の授業科目となっており、日本でもファイナンシャルプランナーという職業に就くための必修科目であったりします。

社会人としてビジネスの世界に身を置くようになって、企業価値を高めるための会社の資金調達や資金運用などを扱うコーポレートファイナンスを、研修や独学で一生懸命学んだ人でも、自身のお金のこと（パーソナルファイナンス）となると意外に疎い、ということはないでしょうか。国の財政を扱うパブリックファイナンス、企業の財務を扱うコーポレートファイナンス、家計や個人のマネーマネジメントを扱うパーソナルファイナンス。この3つのなかで最も身近なはずなのに、日本では多くの人がパーソナルファイナンスを体系的に学んだことがありません。

パーソナルファイナンスの究極のゴールは、幸福(happiness)です。豊かな人生を送るためには、元手が必要になります。もちろん、決してお金をかければよいというものではありません。

贅をつくした豪華列車の旅は一度体験してみたいと思いますが、それだけのお金を使うのなら、ほかの使い方もあると考える人がいてもおかしくはないでしょう。こだわりのある使い方、人生を楽しむのによいものです。一方、目標を持って管理・運用し、やがて手に入れた資産は大きな喜びとありがたさをもたらしてくれます。



本書は、パーソナルファイナンスの基礎や考え方を身につけてもらうために執筆しました。

第1章では、人生の早期からお金を学ぶのが当たり前になっている欧米のマネー教育事情についてお話しします。アメリカでは現在24の州の高校で、パーソナルファイナンスの授業がおこなわれています。しかも、そのうち19の州では全員必修の科目

になっています。一方で、日本のマネー教育がいかに遅れてしまったのか、その原因を探ります。

第2章では、経済の基本概念のいくつかを紹介しながら、それらが金融サービスの利用とどのように関係するのかをひも解いていきます。

第3章からは、いよいよ金融の世界へいざないます。金利、リスクとリターン、相場の変動といった、インターネットや新聞、テレビなどでよく耳にする金融の基本をおさえていきます。

第4章は、3章までに学んできたことをさらに具体的かつ実践的に考えられるように、パーソナルファイナンスの体系を学びつつ仕上げていきます。

執筆にあたっては、できる限り金融サービスの問題を自分ごととして捉えられるよう、さまざまな工夫をしています。まずは、「マネー力診断チェックリスト」であなた自身の現在のお金に関する感度をチェックしてみてください。

本書を読み通したとき、お金についてのあなた自身の感性もレベルアップしているはずです。新聞やテレビ、インターネットのニュースにも敏感になっていることでしょう。

ではさっそく、パーソナルファイナンスの深さ、面白さを体験していただくため、最初の扉を開いていきましょう。

---

# マネーカ診断チェックリスト

まずは、あなたのマネー力を診断してみましょう。初級編から順番にチェックを入れてみてください。

## 初級編

- 自分の額面年収と手取り年収を把握している
- デビットカードとクレジットカードの違いを説明できる
- クレジットカードの支払額を毎月確認している
- 前年に納めたおよその所得税の額を知っている
- 毎月いくらかの貯金はできている
- 外貨預金が元本保証の商品でないことを知っている
- 毎月の携帯料金を把握している
- 利用するクレジットカードを3枚以内にとどめている
- 火災保険では、地震による火災は保険の対象にならないことを知っている
- 円高が進んでいるときはドル買いのチャンスであることを知っている

チェックが6つ以上の人は、中級編へ進んでください。

チェックが5つ未満だった人は、これまであまりお金に関心がなかった人かもしれません。本書を1章から順番に読んでみることをおすすめします。

## 中級編

- 72ルールの意味を知っている
- 家計簿アプリを利用するなどして毎月の収支を管理している
- 自分が定年まで勤めたとして、退職金がどれだけ出るのか知っている
- 高額療養費制度について説明できる
- 医療費控除は確定申告をしないと受けられないことを知っている
- 自分や家族の生命保険料の年額を知っている
- 老後の資金にどれくらい必要かおおよそ理解している
- インフレが予想される時、住宅ローンは変動金利よりも固定金利を選択するほうがよいことを知っている
- 株式などの投資に関して、売却益に非課税枠があることを知っている
- 急な出費に備えて、給料3カ月分くらいの貯金を別枠で準備している

チェックが6つ以上の人は、上級編へ進んでください。

チェックが5つ未満だった人は、お金についての知識をある程度は持っているものの、もっと知りたいと思って本書を手にとってくださった方でしょう。目次を見て、気になる章から読んでみてください。



## 上級編

- 利回りと利率の違いを説明できる
- PER(株価収益率)が高いほど割高な株であることを知っている
- ドルコスト平均法とは何か知っている
- 老後資金のために資産運用するなど対策をとっている
- 自分なりの投資の方針を決めて、それに従って資産運用をしている
- 資産運用ではリスク分散を図っている
- 税金の申告を自らおこない、控除や還付を最大限利用できている
- ライフプランニングのためにキャッシュフロー表を作成したことがある
- 確定拠出年金はフリーランスの個人や主婦も加入できることを知っている
- ペイオフとは何か知っている

チェックが6つ以上の人は、お金についてかなり詳しい方です。本書は簡単過ぎるかもしれませんが、総合的な内容の4章から目を通してみてください。

チェックが5つ未満だった人は、お金について詳しいものの知識が偏っているのかもしれませんが。目次を見て、内容がピンと来ないところから読んでみてください。

## はじめに

お金についてあまり学ぶことなく、  
大人になってしまったあなたへ ..... 003

マナー力診断チェックリスト ..... 007

## 第 1 章

# いま、「お金」について学ぶ理由

## 1 実践的！アメリカの「お金」教育 ..... 018

実学重視のアメリカの教育 ..... 018

アメリカでは、民間組織が「お金」教育をサポート ..... 020

アメリカでは、投資の基礎も小学校で学ぶ！ ..... 022

「お金」の教育は、アメリカの国家戦略 ..... 022

## 2 自立を目指す！北欧の「お金」教育 ..... 025

「考えさせる」北欧の教育 ..... 025

自立して生きていくための「お金」の教育 ..... 028

パーソナルファイナンスの重要性は高まるばかり ..... 030

<b>3</b>	日本は「お金の話はタブー」の文化をいまずぐ捨てる！	032
	日本に「お金」の教育は存在しなかった？	032
	預金や保険、株式が「商品」になった日	035
	日本人の5割は緊急時のお金を確保していない	037
<b>4</b>	人間は「非合理的な行動」をとる生き物	039
	負け続けると、大きなリスクを取ってしまう	
	——損失回避バイアス	040
	「このままが楽」だから、変えようとしな	
	——現状維持バイアス	042
	他人の意見に流される——同調的行動	044
	思い込みで行動する——ヒューリスティック	045
	<b>column1</b> リーマンショックで世界が大混乱！	048
	<b>column2</b> 「持続可能な社会」は、世界が抱える課題	050

## 第2章

# お金のセンスは「経済」の考え方で磨かれる

<b>1</b>	ダイヤモンドが高いのはなぜ？	
	——希少性	054
	ダイヤモンドと石ころの違いは？	054
	お金もまさに希少資源！	055
	大都市圏の地価は高い	056

<b>2</b>	<b>ある選択をして失う利益は？</b>	
	—— <b>機会費用とトレードオフ</b>	058
	二兎追えないときは、どちらを選ぶ？	058
	かしこい選択をするには？	060
<b>3</b>	<b>お金をかける価値はあるか？</b>	
	—— <b>コストとベネフィット</b>	062
	コストとベネフィットを天秤にかける	062
	サunkコストの呪縛	063
	なぜ、コストをかけるのか？	064
<b>4</b>	<b>あなたの行動は会社の思うツボ？</b>	
	—— <b>インセンティブ</b>	067
	ポイントカードの巧みな戦略	067
	ボーナスは成果しだい	069
	普通預金のインセンティブは？	069
<b>5</b>	<b>十分な情報を持っている？</b>	
	—— <b>情報の非対称性</b>	071
	少ない情報をもとに選択する人々	071
	売り手側に情報が少ない商品	073
	中古車を買うのは不安？	074
	<b>column3</b> 過払い金が無料で戻ってくる？	076
	<b>column4</b> 世界の富豪たち	078

## 第3章

# 自分の頭で考えるための 「お金」の基礎知識

## 1 「お金」に働いてもらおう ..... 082

普通預金をしていれば、あなたも債権者 ..... 082
複利と単利ではこんなに違う！ ..... 083
「72」は魔法の数字 ..... 087
いまの9万円と1年後の10万円 ..... 088
「毎年10万円を受け取る」という約束 ..... 089
投資のメニューには何がある？ ..... 091

## 2 生きている限り「リスク」は ついてまわる ..... 097

未来は誰にもわからない ..... 097
リスクに対処する4つの方法 ..... 098
金融商品を購入するときの注意書き ..... 100
金融商品のリスクには何がある？ ..... 101
ハイリターンなものはハイリスク！ ..... 103

## 3 「相場」は怖くも、おもしろい ..... 104

「相場」って何？ ..... 104
昔は、1ドル360円で固定されていた ..... 105
1日でも変動幅が大きい外国為替相場 ..... 107
株取引の基本 ..... 109

## 4 リスクを減らす取引の工夫 ..... 114

新たに生まれた金融商品 ..... 114
-----------------------

売買する「権利」を売買する .....	115
オプションを売り買する .....	116

## 5 少ない資金で大きく稼ぐ? .....

FX取引で最も取引される米ドル .....	120
最大25倍の取引ができるFX .....	121
儲けが大きい分、損失も大きい .....	122

**column5** クラウドファンディングで資金調達! .....

**column6** 奨学金破産を防げ! .....

## 第4章

# 「お金」をマネジメントする

## 1 人生っていくらかかるの?

——ライフプランニング .....

正確な収入を知っていますか? .....	131
負債を利用すべきか? .....	133
バランスシートで家計を評価する .....	135
キャッシュフロー表で未来の計画を立てる .....	137

### ◆Action 1

5年分のキャッシュフロー表をつくろう .....

## 2 「もしも」にいくら備える?

——リスクマネジメント .....

健康上のリスクに備える .....	142
保険料はこうして決まる .....	144

医療保険って、本当に必要ですか？	145
財産上のリスクに備える	147
保険を見直すタイミング	149

◆Action 2	
リスクと備えを洗い出してみよう	151

### 3 お金の運用は長期視点で！ ——ポートフォリオマネジメント

「ポートフォリオ」って何？	155
重要なのは「何に投資をするか」ではない	156
3大要素のバランスを考える	158
利回りを予測する	160
いつ買うかが問題だ	162
銀行や証券会社が倒産したら？	164

◆Action 3	
ポートフォリオをつくってみよう	166

### 4 老後破産を防ぐ！ ——リタイアメントプランニング

年金はいくらもらえる？	170
セカンドライフに何をする？	173
セカンドライフの資金の作り方	175
年金だけでは生きていけない？	177
「確定拠出年金」って何？	179
確定拠出年金の運用先はどう選ぶ？	181

◆Action 4	
あなたのセカンドライフに不足する金額は？	183

<b>5</b>	<b>あなたも私も納税者！</b>	
	——タクスプランニング	186
	あなたの所得税はいくら？	187
	源泉徴収票を見てみよう	190
	確定申告でお金が返ってくる？	196
	意外に簡単！確定申告をするには？	197
	非課税となる制度を利用しよう	200
	<b>◆Action 5</b>	
	確定申告すると、いくら戻ってくる？	201

<b>6</b>	<b>急速に進むキャッシュレス</b>	
	——デジタルマネーマネジメント	202
	支払いはすべて、スマホひとつで！	202
	デジタルマネーの落とし穴	205
	仮想通貨は「通貨」か？	206
	セキュリティは大丈夫？	207
	使い過ぎに注意！	208
	給料がアプリで送金されるようになる？	210
	ロボアドバイザーは活用すべき？	211
	<b>column7</b> ノーベル平和賞が授与された 民間の銀行	212
	<b>column8</b> どれだけのお金があれば、 40歳で引退できる？	214

	おわりに	217
	もっと詳しく知りたいと思ったときは？	219

	索引	220
--	----	-----